

【法197条1項2号による申立て】

財産開示手続申立書

仙台地方裁判所第4民事部 御中

令和____年____月____日

申立人 _____ 印

電話 _____ - _____ - _____

FAX _____ - _____ - _____

当事者 別紙目録のとおり

請求債権 別紙目録のとおり

申立人は、債務者に対し、別紙請求債権目録記載の執行力のある債務名義の正本に記載された請求債権を有しているが、債務者がその支払をせず、下記の要件に該当するので、債務者について財産開示手続の実施を求める。

記

1 民事執行法197条1項の要件

強制執行又は担保権の実行における配当等の手続（本件申立ての日より6月以上前に終了したものを除く。）において、金銭債権の完全な弁済を得ることができなかった。

知れている財産に対する強制執行を実施しても、金銭債権の完全な弁済を得られない。

2 民事執行法197条3項の要件

債務者が、本件申立ての日前3年以内に財産開示期日においてその財産について陳述したことを

知らない。

知っている。

(「知っている。」にチェックした場合は、次のいずれかにチェックする。)

債務者が当該財産開示期日において、一部の財産を開示しなかった
(1号)。

債務者が当該財産開示期日の後に新たに財産を取得した(2号)。

当該財産開示期日の後に債務者と使用者との雇用関係が終了した
(3号)。

(添付書類)

- | | |
|-----------------|---|
| 1 執行力のある債務名義の正本 | 通 |
| 2 同送達証明書 | 通 |
| 3 審判確定証明書 | 通 |
| 4 資格証明書 | 通 |

(証拠書類)

1 民事執行法197条1項2号の要件

財産調査結果報告書

2 民事執行法197条3項の要件

【記載例】

当 事 者 目 録

〒980-8639

住 所 仙台市青葉区片平〇丁目〇番〇号

(債務名義上の住所) _____

申 立 人 甲 野 花 子

(債務名義上の氏名) _____

〒982-1231

住 所 仙台市太白区長町〇丁目〇番〇号

(債務名義上の住所) _____

債 務 者 乙 野 太 郎

(債務名義上の氏名) _____

※「債務名義上の住所」、「債務名義上の氏名」の各欄は、当事者の現在の住所又は氏名と債務名義に表示された住所又は氏名が同一の場合は、記載する必要はありません。

請 求 債 権 目 録

仙台地方 裁判所 **古川支部** 平成・令和 ○ 年(ワ)第 ○○○ 号事件の

- 執行力のある判決正本
- 執行力のある第**2**回口頭弁論調書（判決）正本
- 仮執行宣言付少額訴訟判決正本
- 仮執行宣言付第____回口頭弁論調書（少額訴訟判決）正本
- _____正本

に表示された下記債権

記

下記1及び2の合計から、下記取立金等（ただし、下記各事件の執行費用分を除く。）を控除した残金

1 金 **100万円**

ただし、主文第1項に記載された金員

2 上記1に対する平成・令和 **5**年 **7**月 **4**日から支払済みまで年 **3**パーセントの割合による損害金

- 申立人は、**仙台地方** 裁判所 _____平成・令和 ○ 年（ル）第 **○○○○○** 号事件（及び _____事件¹）にて、債務者につき合計金 **5万** 円を取り立てた。
- 申立人は、 _____裁判所 _____平成・令和 _____年（ル）第 _____号事件（及び _____事件²）にて、債務者につき合計金 _____円の配当等を受けた。
- 申立人は、債務者から合計金 _____円の弁済を受けた。

¹ 複数の事件で取立てをした場合、全ての事件の事件番号を記載する。

² 複数の事件で配当等を受けた場合、全ての事件の事件番号を記載する。

◎ 該当する年号を丸囲みし、該当する□に✓又は■を記入する。